

阪神・淡路大震災被災児童ポーランド招待の記録

—シベリア孤児救済から75年、ポーランドからの「恩返し」—



いち早く受け入れを表明したニポウォミツェ市での歓迎



お城をバックにポーランドの民族衣装を着て



神戸港から帰国するために乗船するシベリア・ポーランド人孤児たち
写真:日本赤十字社大阪府支部提供

開催期間

2026年2月3日(火)～2026年2月13日(金)
10:30～17:00(土・日・祝は休館)

開催場所

(公財)兵庫県国際交流協会
ひょうご国際プラザ交流ギャラリー
神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
(国際健康開発センタービル2F)

TEL

078-230-3267

主催

日本ポーランド協会関西センター

共催

(公財)兵庫県国際交流協会

後援

ポーランド広報文化センター /

 ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

阪南大学 / 毎日新聞神戸支局

入場
無料



1995年に発生した阪神・淡路大震災。

ポーランドは被災児童たちの傷ついた心を癒そうと、

震災半年後の夏休みに約30人を3週間にわたって受け入れ、翌1996年にも同様の招待を行いました。

兵庫県の児童招待はどのように実現できたのか、

なぜポーランドの人々はいち早く日本の被災児童支援に動いたのか、当時の写真・関係資料の展示とともにご紹介します。

1920年代の日本によるシベリア・ポーランド人孤児救済から現在につながる、

日本・ポーランド双方による支援と思いやりの歴史を紐解きます。

セミナー

被災児童はポーランドで何を見て、なにを感じたか

—100年続く両国の友好の歴史とこれから—

日時

2026年2月6日(金) 14:00～15:30

場所

国際健康開発センタービル 2階 201会議室

登壇者

阪神・淡路大震災被災児童招待当事者

藤井 和夫

(関西学院大学名誉教授、日本ポーランド協会関西センター)

定員

60名

参加無料/
要予約



上記QRコードより
お申込みください。

お問い合わせ先：(公財)兵庫県国際交流協会 企画広報課

TEL:078-230-3267(平日9:00～17:00) <https://www.hyogo-ip.or.jp/>

